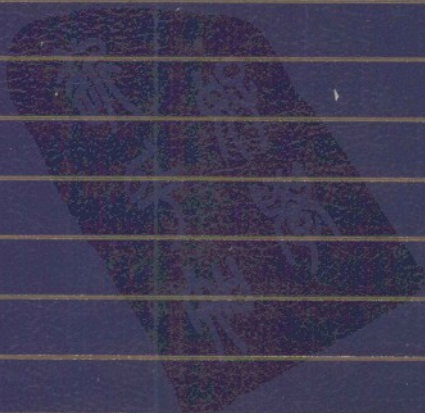


• COLORAMA

L'ENCICLOPEDIA TUTTA A COLORI



COLORAMA

L'ENCICLOPEDIA TUTTA A COLORI

21世紀
世界百科
カラマ

7

主婦生活社

新平 婦
子 學

COLORAMA

21世紀 世界百科 カラーマ

第7巻

© 株式会社 主婦と生活社 1979

昭和54年1月1日 初版 第1刷発行

編集兼発行者	遠藤左介
発行所	株式会社 主婦と生活社 郵便番号 104 東京都中央区京橋三丁目5番7号 電話 (03)567-8083 編集部代表 (03)562-2651 販売部代表 振替 東京0-36364
印刷者	北島織衛
印刷所	大日本印刷株式会社
特抄アート紙	神崎製紙株式会社
見出し用紙	王子製紙株式会社
特抄クロス	ダイニツク株式会社
表紙用特殊色箔	独逸顔料工業株式会社
製本	大日本製本株式会社

造本には充分注意しておりますが、万一落丁・
乱丁などありましたらおとりかえいたします。

0501-000170-3061

監 修

上智大学名誉教授

小林 珍雄

早稲田大学教授

坂 崎 乙 郎

日本イタリア京都館理事長

聖心女子大学教授

京都大学名誉教授

野 上 素 一

日本育英会会長

前 東京大学総長

林 健 太 郎

(50音順)



© Arnoldo Mondadori Editore - Milano 1970

Originally Published in Italy under the title "COLORAMA",

Published in Japan 1979

by Shufu - to - Seikatsu - Sha Co., Ltd., Tokyo.

Japanese translation rights

arranged with Arnoldo Mondadori Editore - Milano

through Tuttle - Mori Agency, Inc., Tokyo.

Credit lines and original publications

of the photographs and materials

used in these books are listed

on the 4th page of the supplement

found at the end of the 10th volume.

ニッパール Nippur 古代バビロニアの都市。現在のイラク中央部。ティグリス川とユーフラテス川のあいだにあった聖市で、同地の守護神エン・キルの神殿がある。前4000年ころ創建され、前2500～前2000年ころは宗教、文化の中心地として栄えた。なお、同遺跡は19世紀末から発掘がつづけられ、多くの粘土板の史料が発見された。

にっぽん →【写真項目】

にどうせつ 二邊説 古代インドの「ウパニシャッド」に説かれた輪廻説のひとつ。二道とは、サンスクリットのデバヤナ（神道）とビトリヤナ（現道）の2つをさす。神道は森林にはいつて苦行するもの道で、火葬に付されたもの。その実をなを経て梵の世界にはいる。解脱した者として道転することがない。現道は、祭祀と苦行の人のそして、死後は火葬の煙を吸はるまじまの経路を経て、人間として再生するといふもの。なお、両者以上の悪人の悪人は、別の道を歩み、小さな血けらになるという。

にとへんさんかくけい 二等辺三角形 2辺の長さが等しい三角形。等しい2辺を等辺といい、他の1辺を底辺といい、底辺に接する角を頂角といい、他の2つの角を底角という。二等辺三角形の2つの底角は等しい。また、2つの角が等しい三角形は二等辺三角形である。

にとるい 二糖類 単糖類の2単位が結合してできた配糖体。水にさわめてよくとけ、甘味をもつものが多い。

天然に遊離のかたちで存在するものには、サッカロース、ラクトース、マルトースなどがあり、セロビオースは多糖類のセルロースの加水分解によって得られる。

ニトリル nitril (英) 炭化水素基(R)の炭素原子にシアン基(-C≡N)が結合している化合物。一般式R-CNであらわす。カルボニトリルともいう。ニトリルにはいろいろな命名法があり、たとえばCH₃-CNは、慣用的にはアセトニトリルというが、酢酸の誘導体と考えるときタンカルボニトリルといひ、エタンC₂H₅の炭素原子3個を炭素原子で置換したと考えるときエタンニトリルとなる。一般に、鎖式ニトリルは、ハロゲン化アルキルとシアン化カリウムとの反応(置換)、酸アミドの脱水反応などによって得られる。鎖式ニトリルのうち、炭素数の14までが無色の液体、それ以上は無色の固体である。ニトリルは、加水分解によってアミドを経て、カルボン酸とアミン・アミドになることから、カルボン酸合成の中間体として重要である。ほかに、合成樹脂原料、潤滑油添加剤などとしても用いられている。

ニトロアニリン nitroaniline (英) アニリン分子中のベンゼン環の炭素原子ひとつ、ニトロ基(-NO₂)で置換して得られる化合物。化学式C₆H₅(NO₂)(NH₂)。ニトロ基がベンゼン環のどの位置につくかによって、*o*-ニトロアニリン(融点72度)、*m*-ニトロアニリン(114度)、*p*-ニトロアニリン(148度)の3異性体がある。3種とも常温で黄色の固体。アゾ染料合成の中間体である。

ニトロカ ——化 有機化合物中の炭素原子をニトロ基(-NO₂)で置換すること。ニトロ置換ともいう。たとえば、メタンCH₄をニトロ化してニトロメタンCH₃-NO₂、ベンゼンC₆H₆をニトロ化してニトロベンゼンC₆H₅-NO₂が得られる。ニトロ化剤には、硝酸HNO₃、濃硝酸と濃硫酸からなる混酸などがある。ニトロ化反応は、ニトロルエンなどの爆薬の製造や、アニリンなどの化学薬品の製造など、工業的にひろく利用されている。

ニトログリセリン nitroglycerin (英) 98パーセントのグリセリンを混酸(濃硝酸と濃硫酸)でニトロ化して得られる三硝酸グリセリンの慣用名。略してNGとあらわす。化学式C₃H₅(ONO₂)₃。トリニトロトルエン(TNT)と同程度の爆発力をもっており、爆発熱は1キログラムあたり1500キロカロリーである。ダイナマイトの基本的な成分である松ダイナマイトは、ニトログリセリンにニトロセルロースを加えてゼリー状にしたものである。ほかに、ロケットの推進薬としても用いられる。

ニトロセルロース nitrocellulose (英) セルロースの硝酸エステル。硝化綿、硝酸纖維素ともいう。精製したセルロースを、硝酸、硫酸、水の混合液に常温でつたし、これを水洗いして得られる。使用した混酸の組成によって、硝化度10.7～11.1パーセントのものはセロイドの原料、11.2～11.7パーセントのものはフッカーや人造絹糸の原料、11.8～13.0パーセントのものは爆薬などに用いられる。



1



2

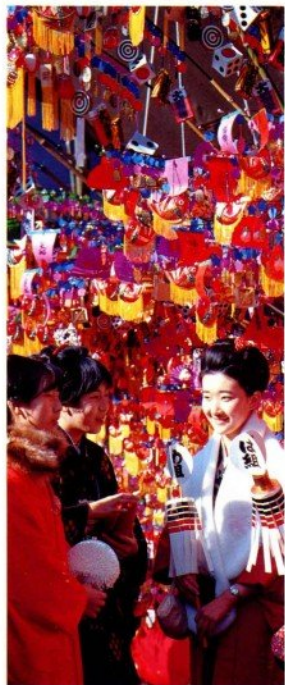


3

にっぽん 日本 アジア大陸の東岸、太平洋北西部にたつる島弧列島からなる民主主義国家で、正式名称は日本国、(にほん)ともいひ、国民の総意にもとづく日本国および日本国民統合の象徴として天皇が存在する。面積37万7535平方キロ。人口1億1193万3818(1975)。公用語日本語。通貨円(=100円)。首都東京。北海道、本州、四国、九州。沖縄県および周辺の諸島からなり、北はオホーツク海、西は日本海、南西は東シナ海、東と南は太平洋と四国を海洋に包まれて他国と隔絶されている。国土は

山地が大半を占め、千島、那須、鳥海、富士、乗鞍、白山、霧島の7つの火山帯が走り、おもな火山だけでも150を数える(写真●活発に噴火する鹿児島県の桜島)。北緯45度以北の北海道北端から北緯約20度の小笠原諸島まで、南北に長い列島群のため、北海道の冷帯気候(写真●冬季に流水に埋められる納沙布岬)から、九州南部、沖縄、小笠原の亜熱帯気候まで気候の差がいろいろある。また、季節風、大陸性寒気団、海洋性寒気団の影響をうけるため、他の温帯諸国にくらべて冬は寒く、夏は

暑いという特徴があり、四季の移り変わりが顕著にみられる(写真●四季によって景観が美しく変化する日本の農村、初夏の福地山森原の里)。日本最古の人類が出現したのは、旧石器の地層から出土した石器によって3万年以上前と考えられている。約1万2000年前には最古の土器があらわれ、以後約1万年間にわたって縄文文化と呼ばれる新石器文化がうつりつた。前3世紀ごろになると朝鮮半島を経て伝わりつた中国文化の影響があらわれ、水田農業と金属器の使用にみられる発生文化がじまった。日



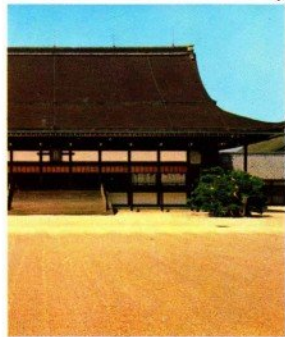
4



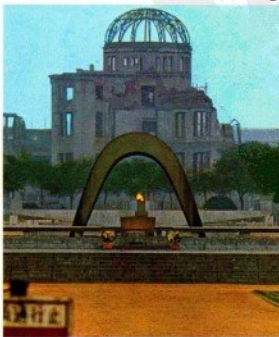
6



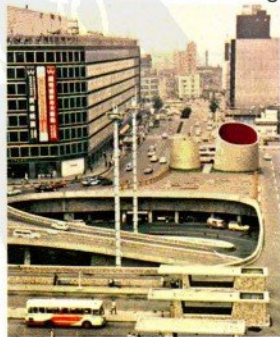
8



5



7

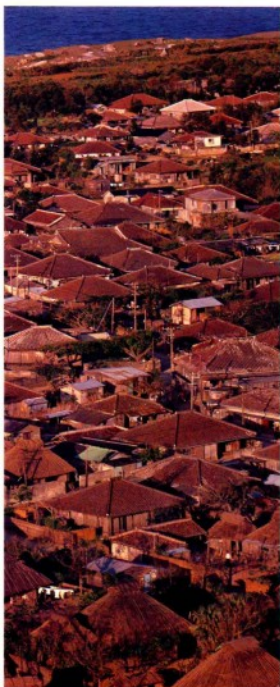


9

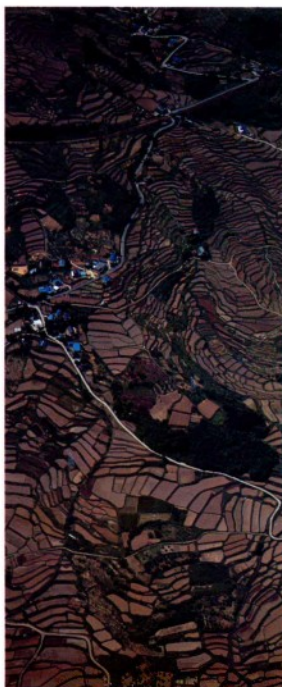
本の一統国家は4世紀の大和朝廷にはじまり、政権は長期間にわたって天皇の手ににぎられた。5～6世紀には漢字や仏教が伝来し、中国と日本固有の文化が融合した独特の文化が開花し、7世紀には唐制を模した律令国家体制がつけられた。12世紀になって天皇の權威が衰退すると武士が勃興し、源賴朝によって公家政權にかわる武士政權が誕生、封建制が成立した。14世紀に鎌倉幕府が倒れると、室町時代、戦国時代、安土・桃山時代の動乱期を経て、1603年に徳川家康が全国を統一して江戸

(東京)に幕府を開き、以後250年にわたる安定した政權がつづいた。徳川幕府が施行した鎖国政策は、1853年のアメリカ合衆国使節ペリーの来日によって破られ、同時に国内では政治の革新を望む尊王派の志士たちの活躍が激化し、68年の明治維新によって幕府政治は終わりを遂げた。新体制は明治天皇を元首とする近代的な立憲君主制をとおり、京都(写真●京都御所)から東京への遷都をはじめ、封建時代の諸制度を廃止し、富国強兵の一貫した政策が示すようになった。やがて、資本主義が発展し

はじめると、輸出市場を確保するために大陸へ進出する要求が高まり、94～95年の日清戦争にはじまる一連の対外侵略戦争への道を歩みだした。第1次世界大戦で連合国側にくみした日本はドイツと戦い、旧ドイツ領の植民地を手に入れた、ますます版図を拡大した。この戦争ののち、1920年の戦後恐慌、27年の金融恐慌、29年の世界恐慌とつづく経済界の混乱と、中国で高まった反日、国権回復の民族運動の結果、〈大東亜共栄圏〉の構想を描く軍部の方がしだいに台頭していった。31年、関東軍露軍の計



10



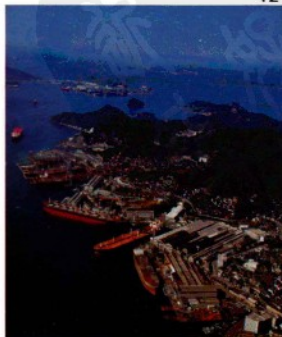
12



14



11



13



15

内政の改定ではしめられた満州事変は、37年の日中戦争に拡大され、41年の真珠湾攻撃にはじまる太平洋戦争へと突入した。初期の戦況は日本軍に有利に進展したが、しだいに物量豊富な連合国軍に圧倒され、45年の合衆国による広島(写真●)京博思想碑、後方は戦時下の空襲を招き田産(東京湾)に、長崎への原爆投下を最後に日本は無条件降伏した。それまでの利権をすべて失った。戦後の日本は、主権を失い、戦争放棄をうたった新憲法のもとに民主主義国家として新生し、とくに経済面では驚異的な復興を

なしとげた。今日の日本は、高度の科学水準を基礎に、貧弱な地下資源を他国からの輸入で補い、製品または半製品を輸出する工業国として世界有数の地位を築いた(写真●)。三重県の四日市コンビナート、●長崎市の造船所)。しかし、工業に依存するあまり、農業(写真●)長崎市の造船所、(田海の月で知られる階段式水田)、林業(写真●)を、●沖縄県と新潟県の山村などの第1次産業の占める割合は低減を遂げ、食糧の自給率がきわめて低いというアンバランスを生み出している。また、い

っほうでは、工業化とともに都市の過密(写真●大阪府の千里ニュータウン)と山村の過疎、公害、学歴偏重のひずみによる受験地獄など大きな社会問題をかかえている。このような現状において、日本の国民は便利な都市生活(写真●東京の副都心と呼ばれる新宿、●開港場を持つ成田の新東京国際空港)を受けながらも、伝統的な型乳(写真●京都の嵐山駅)、季節的行事(写真●奈良の春日の初詣)への関心を深め、速く快適な生活環境をとりもどそうとする動きがみえはじめている。

ニトロベンゼン nitrobenzene (英) 淡黄色の液体。化学式 $C_6H_5NO_2$ 。融点5.7度、沸点210.9度、比重1.20。ベンゼン系、濃硫酸と濃硝酸からなる混酸でニトロ化してつくられる。水にはとけにくい。ほとんどの有機溶媒にとける。ニトロベンゼンの蒸気は、独特の臭気もち。毒性が強い。ニトロベンゼンを還元すると、アニリン($C_6H_5NH_2$)、アゾキシベンゼン($C_6H_5NO = NC_6H_5$)などが得られる。

ニネveh Nineveh 古代アッシリアの都市。ティグリス川左岸、現在のイラクの北方クンジクに位置した。センナヘリ王治下で首都となつて以来、アッシリアの中心地として繁栄したが、前612年メディアと新バビロニアの連合軍によって破壊された。この遺跡は19世紀中ごろにイギリスの考古学者レーサードによってはじめに発掘されたもので、守護神イシュタルの神殿やアッシュール・パニバルの宮殿、大図書館はとくに知られている。

ニーバー Reinhold Niebuhr 1892-1971 アメリカ合衆国のプロテスタント神学者。ドイツ福音派教会の牧師の子としてミズーリ州に生まれ、イェール大学神学部を卒業、デトロイトの福音派教会牧師となる。同市でフォード会社の工場労働者の生活にふれて資本主義の矛盾を痛感、マルクス主義研究をはじめ、労働運動に参加した。当時の楽観的な自由主義神学を批判して、テリヒとともに古典キリスト教神学および原罪説に立つキリスト教的人間論と社会主義的倫理の調和的確立につとめる。

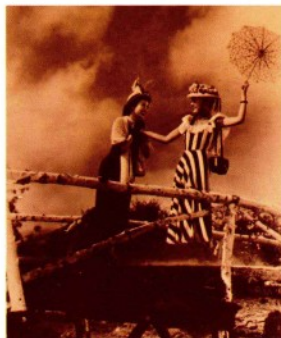
1928年以後、ユニオン神学校で倫理学を教える。のちに名教授となった。48年の東ヨーロッパ旅行以降、共産主義政権に批判的となり、愛と自由と正義による新たな社会倫理を確立、独自の社会改革を主張した。著書『道徳的人間と非道徳的社会』(32)、『光の子と闇の子』(46)など。

にはいちゅう(目) 二胚虫 Dicyemida (学) 中生動物会実類の1目。タコやイカの腎臓にとりつく多細胞動物であるが、進化的系統も生活史の一部も不明で、中生動物に分類されている。体長は最大で6-7ミリ、20前後の細胞で構成されて市り、体形は細長く、繊毛に市われている。生活環は複雑で、寄主の腎臓内で渦虫型と蠕虫型の幼生期をもつが、寄主の体外での生活史は不明のままである。

ニヒリズム nihilism (英) いっさいの存在、認識、価値、秩序を否定する立場。虚無主義ともいう。ラテン語源のニヒル(無)は、ホラティウスの〈ニル・アドミラリ〉に由来するが、これは〈なにもことに驚くな〉というビュッラフの言葉をホフヴィッグがツェンツェンしたものである。思想的原型としてはゴッティエスの〈なにもも存在しない〉とする認識が知られているが、アウグスティヌスは、なにももの信じないものについて語るとき、〈ニヒリスティイ〉という言葉を用いた。したがって中世以降、〈神に反逆するもの〉〈アンティリスト〉と同義に用いられ、プロテスタント神学の伝統では〈無神論〉に共通する思想をさした。18世紀末のドイツの哲学者や

コピは、フィヒテあての書簡で〈ニヒリズム〉の語を使用した。その指摘はイェーニツェルの考えと同じく、フィヒテその他のカント主義者が、客観的実在性を無視した主観的既成概念を市こうすることは正しいとして、フィヒテの超越論的観念論をニヒリズムと称し、批判したものである。しかし、ニヒリズムが思想的、哲学的主題として明らかになるのは19世紀においてであり、従来のキリスト教的文化の諸価値との対決によってあらわれる。〈神は死んだ〉として神への信仰とその代用たる理性力カゴリーへの信仰の無価値を市受したニヒズムにおいて、積極的なニヒリズムが市現される。ツルゲーネフが『父と子』の主人公バザーロフをニヒリストと呼んで以来、ロシアニヒリズムはバクーニンの無政府主義思想に流入、革命思想の主流となるが、むしろドストエフスキの文学によって、いっそう、哲学的に追求された。ドストエフスキの多面的影響をうけたニヒズムは、神なきヨーロッパ文明をニヒリズムと呼び、〈最高の諸価値が無価値になること〉と定義し、神なき世界の克服を〈未始回復〉〈力かの意図〉〈超人〉の3原理によって受容することを主張、存在と理性の無意味を説いた。ハイデガー、ヤスパーズ、サルトル、マルセルの実存主義者は、ニヒズム思想との対決を経て、近代社会文明・思想の克服を思案し、主体的な価値の選択を主張している。

ニーブル Barthold Georg Niebuhr 1776-1831 ドイツの歴史家、政治家。西南アジアの探検で知られるカステン・ニーブルを父として、コペンハーゲンに



1



3



5



2



4



6

にほんえいが 日本映画 日本映画の歴史は、歌舞伎、新派の短編実写にはじまる。1899(明治32)年、街頭風景、歌舞伎などを実写した作品がつくれ、やがて実際の事件を題材とした短編映画が生まれた。この後1914(大正13)年に映画会社が成立。したに全国に普及していくが、当時は活劇写と呼ばれる。説明のため市主として解説者が活躍した。ついで社会の発展とともに映画事業も発達をみせ、20年代にはついに映画会社が発達され、いっしょう輸入映画の土壌もさかんになる。

シナリオ、監督中心の近代的制作方法が確立された。関東大震災後は、新しく復興したニヒリスティックな時代観が人気を博し、さらに喜劇その他のジャンルにおいても優秀な作品がつくられるようになった。トーキー時代にはいると、文芸映画が勃興するが、軍部の台頭によって検閲が強化され、歴史映画、記録映画を除いて活力を失っていく。第2次世界大戦後は、はきき切ったように自由な創作活動が進められて、51(昭和26)年には初の国産カラー映画(写真●『カルメラ旅順に帰る』)が完成、

満口龍二(写真●)『明日物語』が市現した作家の活躍で世界の名声を築いた。このうち、市見ともに黄金時代を市現するが、50年代末期のテレビ化とその後のレジャーに侵食されて不振に市い。真田の一途ととる。一部独立プロの健闘(写真●)『神々の深き欲望』以外に、大手の商業主義的作品で人気を市めるものも市あった(写真●)『続続丹次』。●『8月の選れた市』。今日、選選は市あてがたく、日本映画は市まて以来の重要な転機を市市えていく。写真●『男はつらい市』。

生まれ、キール大学を卒業後、デンマークの官吏、ついでプロイセンの枢密顧問官となった。1810年、ベルリン大学創設とともに、そこで3年間ローマ史を講じ、解放戦争後、プロイセンの駐パティオン公使を経て、25年からボン大学教授をつとめた。史料の文献学的批判によって古代ローマ史の解明を進め、その批判的方法は近代史学研究の起点となり、ランケやモムゼンに大きな影響を与えた。主著「ローマ史」3巻(11-32)。

にふれつ 2分裂 原生動物にきわめてふつにみられる増殖法。1つの核が2分し、それにつれて細胞が2分するもので、1個の母虫から新しい2個の虫を生じる。環形動物、扁形動物、腔腸動物のような後生動物でもみられることがある。

にべ(科) Sciaenidae (学) 硬骨魚類スズキ目の1科。世界の熱帯から温帯にかけての海域に多くの種類が分布する。中国や北アメリカには淡水性の種も存在する。ふつ、細長い体形で30~50センチほどであるが、1メートルほどの大型種もある。背びれは2つに分かれており、尻びれのとげが2本ある。日本近海には40種ほどが知られ、ニベ、コイチ、オオニベ、シログチ(イシモチ)などが食用となる。

ニーベルンゲンぞく —— 族 グルマン神話に登場する小人族。ニーベルンゲンの語は「霧の国の人々」の意。中世の英雄叙事詩「ニーベルンゲンの歌」によれば、彼

らは地中に住み、アルベリヒを主として秘宝を守っていたが、これの番をしていた竜が、剛力無双の英雄ジークフリートに退治され、秘宝も奪われてしまった。また、彼らは片手に打火を、もういっぽうの手に大槌あるいは鉄槌をもって金鉱を探しあてるとされており、地下に埋藏されているすべての財宝の象徴とも考えられている。

ニーベルンゲンのうた —— の歌 中世ドイツの英雄叙事詩。作者も成立も不明。中世初期から伝承されたジークフリート英雄伝説と、12世紀のブルグント族滅亡物語を、13世紀はじめオーストリアの騎士たちが集大成したものとされている。現存の日本の写本のうち、ザンクト・ガレン写本Bがもっとも原典に近いとされ、2部39章、4行単位の2379語節からなる。竜を退治してニーベルンゲン族の秘宝を手に入れたネーデルランドの王子ジークフリート(ジークフリート)は、ブルグント族の王グンターを助けてアースンドの女王ブリュンヒルトと結婚させ、その功で王の妹クレームヒルトを妻にする。しかし、10年後、クレームヒルトとの口論から事情を知ったブリュンヒルトは復讐を誓い、臣下のハーゲンにジークフリートを暗殺させて、ニーベルンゲンの秘宝をライン川に沈めてしまう。悲嘆にくれるクレームヒルトはブルグント族の王エッツェルの求めに応じて再婚し、やがてブルグント族を宮廷に招いて全滅させるが、この報いのみすらも果てず、ワグナーの楽劇「ニーベルンゲンの指環」は有名。

にほんえいが —— [写真項目] 前ページ。

にほんが —— [写真項目]

にほんかい 日本海 アジア大陸と日本列島のあいだにある海。面積100万8000平方キロ、平均深度1350メートル、最深部3717メートル。開谷、宗谷、津軽、対馬、朝鮮の各海峡によって、オホーツク海、太平洋、東シナ海と通している。黒潮系の対馬暖流とその支流の東海流、さらに寒流のリマン、宗谷海、北朝鮮の3海峡が流れこんでおり、おもに北部ではサケ、タラ、ニシン、マス、タラバガニ、南部ではブリ、サバ、マグロ、イワシなどがとれる。

にほんかいこう 日本海溝 日本列島の太平洋側に南北に横たわる海溝。全長約890キロ、平均深度6000メートル。最深部は鹿児島湾の東方で8412メートル。北海道東部の襟裳岬沖から本州の三陸半島沖をとり房総半島の南東沖までのびる海溝で、南にくるほど深くはなる。

にほんざる Macaca fuscata (学) 哺乳類霊長目オナガザル科の1種。日本の本州、九州、四国などに分布し、霊長目としては、人間を除いて最北にすむ種である。雄は頭長50~60センチ、体重は15キロに達する。雌はそれよりやや小さい。毛色は灰色ないし黒褐色で、腹面は白っぽい。おもに植物食で果実や種子を好み、昆虫や甲殻類も食べる。餌の少ない冬季には木の枝や芽も食べている。数十から200頭の群れをつくって生活し、定まった行動域がある。ニホンザルの社会関係はよく研究され



にほんが 日本画 日本における伝統的な絵画をさす。名称は、ヨーロッパ絵画の材料、技法が流入した明治時代に、これら(洋画)と区別するために生まれたため。とくに明治以後の絵画に対して用いることが多い。洋画の絵画技法で描かれるのに対し、にわでついたり岩絵具で彩色し、また、(うきさき) くらしこみ や金銀の砂子(すなご)を蒔(ま)いたり箔を押しして画面を装飾する独特の手法も用いる。油絵が普及しはじめた明治初期に、沈滞していた狩野派などの日本の伝統的画風を再興さ

せようとしたのがアメリカ人の美術研究家フェノロサで、同派の同好者とともに、狩野派、桃本派那らの両家を集めて日本画の復興運動を展開、東京美術学校(現東京芸術大学)を設立するなどして日本画家の育成につとめた。1898(明治31)年には、寺崎金三、横山大観、菱田春草(写真●「黒き旅」)、下村松山(写真●「本の間の秋」)東京国立近代美術館(現東京国立近代美術館)が設立され、日本画の新たな方向を開拓するためにさまざまな試みがなされ、とくにロマン主義的な

史画が展開した。いっぽう、円山派、四条派の本拠地である京都では、竹内栖鳳、菊池寛文らが出て写生的花鳥画が栄え、以後、日本画は、安田靉堂、前田香雪、小林古径、河合玉堂などが輩出した東京画壇と、桃本派、土田幸徳らを生んだ京都画壇とで二大主流となって興隆した。第2次世界大戦後、一時衰退したが、今日、日本画は洋画に接近して厚塗りの技法が多用され、横断などでは新画面をみせながら、ふたたび隆盛期にある。写真●東京船頭画(夏目漱石)。

であり、成熟した雄の群を「グループ」と若者組、雌と子からなっている。雄は群れから離れて生活する時期がある。九州の幸島の群れは、いも洗い行動という文化の定着過程の観察で世界的に有名である。

にほんしき 日本書紀 日本の奈良時代初期の歴史書。日本紀、書紀、記ともいう。日本最古の物語史で、六国史の第1、30巻。天武天皇の第3皇子舎人(とねり)親王が勅を奉じ、太安万侶(おのおのやすまろ)らと撰述、720年に成立。神代から持統天皇までの日本の事跡を漢文、編年体で記述したもので、「帝紀」「旧事」をはじめ、「漢書」「後漢書」「三國志」などの外来書が資料として用いられている。今日では、歴史学はもとより、比較神話学、民族学、国語学などで新しい研究がおこなわれている。

にほんぶんがく 日本文学 日本の文学は、約1400年の歴史をもち、時代的には、古代(大和、平安)、中世(鎌倉、南北朝、室町)、近世(安土桃山、江戸)、近代(明治以降)の4期に分けられる。古代には、国家的事業として「古事記」「日本書紀」などが編纂されるいっぽう、8世紀に国民的大衆情詩集「万葉集」が成立し、日本文学の原基を形づくった。平安時代には、貴族文学が開花し、和歌、日記、物語などの隆盛のあとをうけて、「平家物語」「太平記」に代表される軍記物語が流行し、また、仏教思想の影響のもとに、「方丈記」「徒然草」などの随筆文学の傑

作があらわれた。とくに室町時代における能狂言の大成は、劇文学史上、画期的な意義がある。近世にはいり、伝統的な雅文芸に対して、町人を主体とする俗文芸が占り、俳句や、浮世草子と呼ばれる小説が盛行し、芭蕉、西鶴がそれぞれ頂点を築いた。また、浄瑠璃、歌舞伎の成立も、この時代に特徴的である。近代以降は、ヨーロッパ文学の直接的影響をうけて多様な進歩をとげ、今日では、世界文学の有力な一角を形成している。

にほんほうそうきょうかい 日本放送協会 日本の公共事業体でNHKと略称する。1926(大正15)年、東京、名古屋、大阪の3放送局が合同し、社団法人として設立された。その後50年、放送法制定により新法に発足し、以降、着実な成長を示して、今日世界有数の放送事業体となっている。最高機関は経営委員会、運営は受信料でまかなわれ、また海外との提携などひろく活動している。

にまいぬいりい → [写真項目]

ニーマイヤー August Hermann Niemeyer 1754~1828 ドイツのプロテスタント神学者、教育家。1779年にハレ大学教授、1807年には同大学総長となった。教育の目的は人間の諸力を心身の法則に従って調和的に発展させることであると主張。主著「教育教授原論」(1796)は、体系的な教育学の最初の著とされる。

ニーマイヤー → [写真項目] 次ページ。

ニーム Nîmes フランス南部、ガール県の県都。人口12万9900。マルセーユの北西100キロ、ローヌ川下流域に位置する。古代ローマの属州の中心地で、ネマウスと呼ばれた。現在はツングドック地方のブランデー、ぶどう酒の集散地で、機械、繊維、皮革などの工業もおこなわれる。なお円形劇場、神殿などの遺跡がある。

ニーメラー Martin Niemöller 1892~ 西ドイツの牧師。第1次世界大戦では、Uボート(潜水艦)の艦長をつとめたが、神学を学び、1931年、バルリンのルター教会の牧師となった。ナチの宗教政策に対して「福音主義緊急同盟」で抵抗したため、37年に強制収容所に送られた。45年に解放された後、東西ドイツ統一を主張。

にめんかく 二面角 幾何学の用語。1つの直線を境界として共有する2つの平面がなす角。二面角の大きさは、境界になっている直線上の1点から、直線に対して直角にそれぞれ2平面にひいた2線分のなす角度であらわれる。

ニヤいせき → 遺跡 中国の新疆(シンチヤン)ウイグル自治区タリム盆地南道にある遺跡群。1901、6年の2度にわたってイギリスのA. スタインが発掘調査した。住居、墳墓、家畜小屋、橋、水道、井水道、果樹園などの遺構があり、住居跡からは、家具、食器、織物、木簡などが出土した。乾暖地であるため、いずれも保存状態はきわめて良好で、ガンダーツ的文化をよく示している。



にまいぬいりい(綱) 二枚貝類 Bivalvia (学) 軟体動物の1綱。二枚貝類に属する貝の総称。おの型の足をふくことから岸足類とも呼ばれるが、最近では殻を2枚もつという特徴から二枚貝類と呼ぶことが多い。2枚の殻はふつと対称的に同形で、殻面には歯状の突起があり、ちやうつがいのようにかみ合い、そのわきにある靱帯でつながっている。靱帯は殻皮層からなり、かたくて弾性がある。殻は強力な閉殻筋(いわゆる貝柱)によって閉閉する。2枚の殻は左右の位置で、殻頂のあるほうを背側、閉閉

するほうを腹側という。殻の形は、高凸の山形、おうぎ形、長円形、扇形など、分厚いもの、平たいものとさまざまである。表面はなめらかなもの、ざらざらしたもの、隆起や突起のあるもの(写真●はザルガイの1種)、みぞ模様したものもある。毛の生えたものなどがある。また、色や模様も多種多様である。体制は頭部が分化せず、目は外套縁のへりに外套膜としてならんでおり(写真●はタケガイの目)、歯舌はなく、外套膜と内臓のあいだの外腎管にあるえら管、呼吸とともに摂食の器官

となる。入水管から水中の有機物を水とともに吸いこみ、えらで濾過して消化管に導く。排出物は外套膜へ出し、入水管から外へ吐き出す。砂底にすむものでは、砂にもぐって発達した入水管を水中に突き出してジェット推進式に移動するものもある。いっぽう、岩場にすむものには、足をき出して岩にも固着するものもあり(写真●はムツササガイ)。マツガイ(写真●)では強い粘性の分泌液を出して岩に穴をあけて固着する。

とくに本間には、漢文のほかカローシエティ文字によるものがあり、泰始5(269)年の日付も見いだされる。これらのことから、同遺跡は2～3世紀のシルクロードの要路路と思われ、また、精結国跡とする説もある。

ニーヤヤがくは ——学説 古代インドの六派哲学の1つ。正理学派ともいう。ガウタマを創始とし、3～4世紀に編纂された「ニーヤ・スートラ」を根本経典とする。学派は1世紀ころに形成され、バイシェシカ学派の自然哲学を継承し、「チャラカ本集」「方便心論」などの従来の論理学的思想を集成するから論理学(因明)を発展させた。その哲学説には小乗仏教の影響が濃厚である。ベータ派は、正統婆羅門のニーマーサー学派に伝統的な諸著作論を排して、ベータ型を人間の経験的知性による知識と考へ、声無常論をととなえ、人生の苦は「あやまった知」からくるものであり、ヨーガを修行し正しい認識を得ることによって真実相に迫り、解脱に達すると説く。認識方法として直観知覚、推論、類比、信頼すべき人の言葉をおき、論争にあたっては、主理・理由・実例・適用・結論の五分法による推論の論式を用いる。

ニヤシニヤシまつり 娘嫁祭 中国の民間信仰にもとづく、各種女性神に対する祭会(びょうえ)。娘娘は母、皇后、女神の総称で、古くから各種の機能をもつ娘娘の廟が各地に建てられ、信仰の対象となつて、主神となつてはいるが治病を祈願する眼光娘娘、発財・長寿などを祈る福寿娘娘、授児祈願の子孫娘娘の3種で、いずれ

も祭礼は陰曆3～4月におこなわれ、商取引の市なども立つておおいにぎわう。とくに碧霞元君の廟会は有名。

ニューアイルランドとう ——島 New Ireland I. 太平洋西南部、ビスマルク諸島北東部の島。面積8700平方キロ。人口4万9000。北西から南東に細長い火山島である。1616年にオランダ人が発見し、1884年にドイツ領、第1次世界大戦後、オーストラリア委任統治領、信託統治領を経て、75年、パプアニューギニア領となった。ココヤシ栽培がさかんで、中心都市はカピエン。

ニューアーク Nework アメリカ合衆国東部、ニュージャージー州北東部にある都市。人口40万5200(1970)。ハドソン川河口に位置する。1666年にコネチカット州からの移民が建設した町で、現在では海港、エリザベス空港をもつ。商工業の中心地となっている。保険業、皮革工業、宝石細工などのほか、機械、化学、食品加工などの工業および金融業、卸業などが発達している。

ニューイングランド New England アメリカ合衆国北東部にある地方で、メイン、ニューハンプシャー、バーモント、マサチューセッツ、ロード・アイランド、コネチカットの6州からなる。総面積16万3704平方キロ。人口11167万8400(1970)。アパラチア山脈の北端部を占める。名称は1614年にジョン・スミスがつけたもので、20年に清教徒がはじめて入植して以来、イギリス本国の連

合体ニューイングランド連合をつくるまでに発展した。早くから農業地帯として開発され、近郊農業が発達しており、また、繊維、金属器具、機械、製紙、パルプ、造船などの工業がさかんである。おもな都市はボストン、プロビデンス、ハートフォード、ニューヘブンなど。

にゅうえき 乳液 植物体にくっつく一般に孔状の濃い液体。樹液またはラテックスともいう。ケシ科、ネク科、トウダイグサ科のバラゴムとキ、ウルシ科のウルシなどの分泌物がよく知られる。その成分は、水、ゴム、アルカロイド、たんぱく質、酵素などである。ケシの樹果がまだ熟さないうちに傷をつけて得られる乳液は阿片と呼ばれ、医薬品および麻薬に用いられる。また、バラゴムノキから採取される乳液は天然ゴムの原料であり、ある種のアカツツ科の常緑高木から採取される乳液も、ゴルフボールなどに使用されるグラブエルと呼ばれるゴム状物質の原料になる。

にゅうかいしき 入会儀式 宗教・教団への入信から、社会集団や組織への入団にいたるまで、その組織的、社会的特性に従った集団への加入の儀式がいろいろおこなわれているが、これを入会儀式、または入社式、入団式という。未開社会においては、とくに青年男子の成年儀礼が一般的で、苦行、トーテムの秘儀の伝承、トーテム共食への参加によって部族的結束を固める意味をもった。技術、割礼、入墨、烙印、血盟の儀式などをもつとも多く、さきめて多様な形態がみられ、連続儀



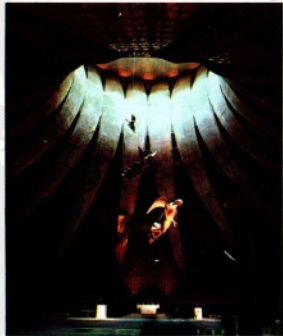
1



2



3



4

ニーマイヤー Oscar Niemeyer 1907— ブラジルの建築家。リオ・デ・ジャネイロに生まれ、同地の国立美術学校に学び、1932年から、ワテン・アメリカ近代建築の指導的地位にあつたコスタの助手となる。36年、教育保健庁舎建設のためにブラジルに招かれた。コルビュジエに、種コスタとともに協力。39年には保健庁舎の主任建築家に任じられ、彼の指揮下に同庁舎は43年に完成したが、このとき、ル・コルビュジエからうけた影響は、以後の彼の作風を理解するうえで重要である。

いっぽう39年にはニューヨーク万国博覧会のブラジル館の設計も担当し、建築家としての地位を固めた。度は、ル・コルビュジエの近代合理主義建築の理念を継承しながらも、40年代からは、またく曲線的な空間を構成し、パンブラ湖畔の建物群やレストラン、カジノ、教会など、多様な分野で独力的な制作活動を開始する。47年にはニューヨークの国連本部の設計委員に選ばれ、51年には、サンパウロ市400年記念博覧会の総合計画を担当し、56年から、新都ブラジリアの都市計画の設計者となつたコスタ

のもとで、議事堂、大統領官邸、裁判所、劇場など、多くの主要な公共建築を設計し、以後、国際的な活躍がめだっている。ニーマイヤーの建築の理想は、極度に空間を単純化することから出発しているが、最近では、彼は厳密な建築理念にこだわらなくなつた。むしろ物質的なリアリティによる精神的な空間構成を楽しんでいるようであるという説がある。写真●サンパウロの官庁館のプロジェクト。●ママラチ・パレス。●リウのラ・ラ本社。●カエドラルの内部。]

にゆうかん

などは性別、年齢別、職能別による教育的な通過儀礼のひとつである。キリスト教入信のさいの洗礼、秘密結社への特殊な入会式などは、集団形成や教理保持の組織的隔離の効果をもっている。

にゅうかん 乳管 乳腺から分泌された乳汁を乳頭へ送る導管。乳腺は15～20個の腺葉の集まりであり、乳管はこの腺葉ごとに1本ずつある。乳頭にいたる前の部分で、乳管洞をつくり、そのうち乳頭に開口する。

にゆうこう 乳光 物質内部の条件によっておこる散乱光。場所によって水分の含有量に違いがあったり、屈折率を変化させる微細なひびや層が存在するとき、物質内部の密度が均一でない場合に光をあてたときに見られる。オパールが乳白色に見えるのは、その例である。

β-ヒドロキシ酸 ヒドロキシ酸のひとつ。化学式 $\text{CH}_3(\text{CH}(\text{OH})\text{COOH})_n$ オキシプロピオン酸ともいう。また、これを α -オキシプロピオン酸という、最初の炭素原子に水酸基のついたものを、 α -オキシプロピオン酸 $\text{HOCCH}_2\text{CH}_2\text{COOH}$ のいうものを、 β -ヒドロキシ酸といふ。型は β のほうをさす。化学式中の 2 番目の炭素が不斉炭素原子になる。2、2 種の光学異性体が存在する。L-乳酸は、動物の筋肉や組織中に存在し、肉乳酸の別名もある。潮解しやすい結晶で、融点は 26 度。解糖、発酵の生産物であり、筋肉疲労は、解糖によるこの乳酸の蓄積が原因である。D、L-乳酸は、多くの哺乳動物に存在する。純粋なものは、

無色で粘性のある液体。融点18度、沸点120度。水やアルコールにとけると、強い酸味を示す。

にゅうし 乳歯 出生後にはじめて生えてくる歯。脱落歯ともいう。これに対して換歯後の歯を永久歯と呼ぶ。萌出はだいたい生後8か月からはじまり、下顎の中切歯があらわれ、上顎の2本もつづいて生えてくる。そこからしだいに両側に生えていき、ほぼ24か月で合計20本の乳歯が生えそろう。換歯は6歳前後からはじまり、12歳前後で完了する。大臼歯では換歯はおこなわれない。

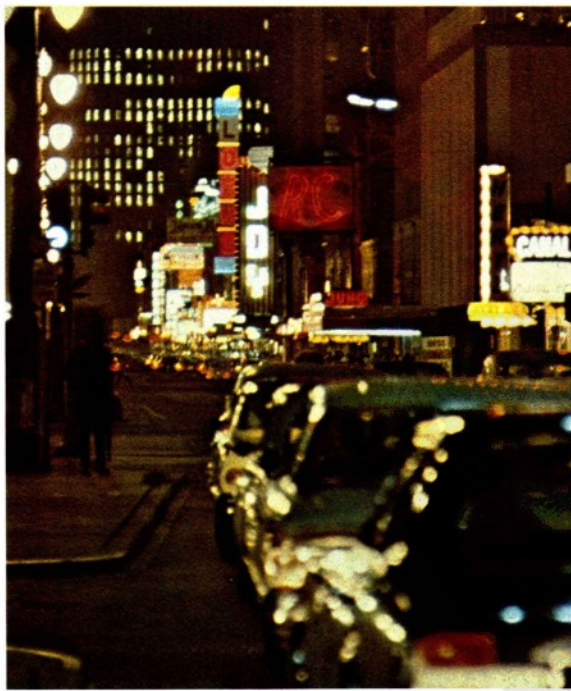
にゅうじかいにつびょう 乳児壊血病 乳児のビタミンC欠乏症。この疾病については記載をおこなったドイツの医師メラーと、イギリスの医師パーローにちなんで、メラー・パーロー病とも呼ぶ。本題は壊血病と同じで、誕生後6か月以後の人工栄養で育てられた小児に限って観察される。栄養失調、貧血、不機嫌などの症状とともに四肢を動かさずとこざし出したり、病気に感染しやすいくなる治癒としてはビタミンC剤の投与であるが、つねに人工栄養の場合は気を付けてビタミンCを必要量とすることが肝要である。

にゆうしやく 入射角 ある媒質中を進行する光波がほかの媒質に入射するとき、2つの媒質の境界面と入射光線とが交わる入射点において、入射光線と法線とのつくる角。なめらかな境界面の入射点において光が反射される場合には、入射角と等しい反射角が得られる。

にゅうせんえん 乳腺炎 乳腺の急性の炎症。ふつう、授乳期におこり、初産婦に多い。乳房が部分的または全体的に腫れ、緊張感、熱感、痛みをともなう。乳孔が十分にたまることによる鬱血性乳腺炎と、乳汁中に細菌の排出をためこみによる化膿性乳腺炎とがある。乳頭の皮膚をじょうぶにすることや、乳孔の飲み残しの乳は、搾乳器で排乳させて予防する必要がある。化膿性炎の治療薬としてはサルファ剤、抗生剤を用いる。上述のものや産褥性乳腺炎と呼ぶのに対して、新生児乳腺炎と呼ばれるものがある。これは、胎期に母体のエストロゲンの作用によって、生理的に一時的な腫れがみられる場合が多い。

にゅうだくえき 乳濁液 ある液体中に、別の液体がコロイド状態で分散し混合しているものを、エマルジョンという。ふつふつの水と油とを攪拌すれば、一時的に乳濁液になるが、すぐに分離してしまう。しかし、これに界面活性剤を加えて攪拌してやると分離しにくく乳濁液が得られる。この界面活性剤の働きをする物質を乳化剤という。乳化剤には、アルカリ石鹸、重金属石鹸、高級アルコールの硫酸エステル塩、ポリオキシエチレン系等の非イオン型界面活性剤など数多くあり、農薬、医薬、化粧品などの製造に用いられる。

にゆうとう 乳糖 二糖類の一種。化学式 $C_{12}H_{22}O_{11}$ 。無色の結晶で、ラクトースともいう。 α 型結晶(一水和物)と β 型結晶(無水物)があり、融点はそれぞれ202度、252度。



ニューオーリンズ New Orleans アメリカ合衆国南部。ルイジアナ州のメキシコ湾岸、ミシシッピ川下流のデルタ地帯に位置する港湾都市。人口158万5000(1970)。1718年、フランス人によって建設され、のちにフランス植民地もルイジアナ的首都となった。市名は、当時のフランス植民政オレリアン公の名に由来する。ルイジアナは、62年にスペインに譲渡されたが、1800年にふたたびフランスにとなり、3年に合衆国によって買収された。合衆国領になってから、南部最大の港湾都市として急速な

発展をとり、綿花などの農作物や男人奴隷の大量輸出として、繁栄をきわめた。15年、アメリカ・イギリス戦役末期に、同市はイギリス軍に包囲されたが、のちの第7代大統領ジャフソンは、軍に引きいられた合衆国軍がこれを打ち破った。有名な「ニュー・オーリンズの戦い」である。南北戦争中は、南部開港場の拠点となったため、海陸両面から北軍の攻撃をうけて大きな被害をこうむった。現在は、ラテン・アメリカ貿易の主要港として、バナナ、コーヒー、砂糖、ボーキサイトなどを輸出し、機械、

鉄鋼、石油、穀物などを輸出している。工業は、製油、食品加工、繊維、造船などがある。近年は石油化学、宇宙開発関連工業も盛んになっている。市街の近代都市化はめざましいものがあるが、いっぽう、植民地時代のフランス、スペイン風の建築も残っており、古きよき時代の面影をしのびせる。ジャズの発祥地としても有名である。また旧市街のマルティン・グーは、合衆国最大のストリート盛大なカーニバルで知られる。写真⑧ 聖堂カトリック・ストリート。写真⑨ ビュー・カレと呼ばれる観光地ナール

度。水溶性で、かすかに甘味をもつ。哺乳類および人間の乳のなかにもみくまれ、それ以外のものにはほとんど発見されていない。人乳では約7パーセント、牛乳では約4.5パーセントみくまされる。乳児の栄養に重要であるほか、ペニシリン工業における発酵培地として有用である。

にゅうないすずめ Passer rutilans (学) 鳥類スズメ目ハタオリドリ科の1種。アジア大陸南東部、極東部に分布する体長14センチほどの小鳥。スズメに似るが、喉の黒斑がなく、目の周囲は赤褐色、頬は白い斑がある。日本では北海道から東北地方の森林で繁殖し、秋や冬は暖地に移動、雑穀などを食べる。

にゅうび 乳嚢 小腸に分布するリンパの一種。もともとリンパは無色ないし淡黄色であるが、食後、腸管から分泌するリンパ液は脂肪を吸収して乳白に色づき、とくに乳嚢と呼ばれる。腸絨毛を通して吸収され、乳管を通り、リンパ循環を通して血液循環にはいる。

にゅうほう 乳房 哺乳類に特有の器官で、とくに雌に発達している。ちぶさともいう。雌では哺育のための乳汁分泌という役割をもち、臍下(えきか)から鼠径(そけい)部という縦線上に数対ある。雄ではほとんど近似的である。人では女性においては外性器の一種であり、半球形をなし、胸部前面に1対だけあるのがふつうあり、乳汁を分泌するのが乳腺で、乳房内の結合組織ならびに脂肪組織に支持されて分布している。乳腺をなす15

〜20の乳腺葉からはそれぞれ乳管が出て、これは乳頭にいたって開く。乳頭は平滑筋線維に富むので、ふれると起立して乳児がくわえやすい状態となる。乳房の発達には思春期にはいると急速に速むが、それ以前では男女の差はほとんどない。また、妊娠によって乳頭とその周辺部の乳輪は色素を増し、乳汁の分泌もはじまる。

にゅうようときえん 乳種突起 外耳の後ろに突き出るほほ川顔の親指大の突起。側頭骨の側面の末端を構成する。外面と下縁には胸鎖乳突筋が附着し、内部は乳突蜂巣というハチの巣状の多くの空洞からなる。

にゅうようときえん 乳種突起 乳突蜂巣の結構および骨の実態で、空洞に膿がたまると、乳突炎ともいい、広い意味での中耳炎にもみくまれるが、中耳炎の合併症として別個に扱うことが多い。耳だれが増すと聴力に障害をきたし、発熱や頭痛がしたりする。炎症が悪化して頭蓋内合併症のおそれのある場合には、乳種突起切開手術をこころう。

にゅうりん 乳輪 人の乳頭をとりまく色素の多い輪状の部分。メラニン色素によって黒褐色となっている。大さきや色の濃さには人種や個人によって差がある。妊娠によって色素が増えて濃くなる傾向がある。

にゅうろうしょう 乳漏症 授乳以外のときでも乳汁様の分泌物が絶えず漏れ出してくる症状。乳汁漏症ともい

う。その多くは下垂体前葉ホルモンの作用過多によると考えられる。治療には、授乳期をすぎたら手術的方法をとる場合もあるが、ふつう月経開始とともにしぜんに止まる。

ニューオーリンズ 写真項目 前ページ。

ニューカム Simon Newcomb 1835〜1909 カナダ生まれのアメリカ合衆国の天文学者。1853年、合衆国に渡り、ハーバード大学を卒業。77年以後、アメリカ海軍局長として、合衆国の標準時設定などに尽力した。おもな業績としては、水星、金星、地球、火星、天王星、海王星の運動理論を完成させたことで、彼の惑星表は、今日でも惑星の位置を知る計算に使われている。

ニューカレドニアとう 島 New Caledonia I. 南太平洋、ニューギニアとニューージーランドの中間にあるフランス領の島。面積約1万9000平方キロ。人口11万500。中心都市ヌーメア。1774年に、イギリスの探検家クックが発見して命名し、1853年からフランスに領有された。その初期には産地。75年にニッケル鉱床が発見されて以来、クロム、鉄、マンガン、金、銀、鉛などの鉱物資源が開発され、なかでもニッケルとクロムは世界的産地。カナカ族に属する原住民が約5万人おり、自給農業をいとなんでいる。

ニューギニア 写真項目



1



2



3

ニューギニア New Guinea 太平洋西南部、オーストラリアの北方にある世界第2の島。面積77万1900平方キロ。人口320万(1971)。西部のインドネシア領西イリアンと東部のパプア・ニューギニアとなる。島の中央部を西に背山脈が走り、その北側は海岸山脈群と中央低地帯、南側は大陸の性格をもつ太平洋で、フツ川、ディグ川、エフィング川などが曲折しながら流れる。気候は赤道多雨型で、年間平均気温は25〜30度、降水量が多く熱帯雨林気候地帯である。原住民は大多数

がパプア人で、多くの種族に分かれ、作物栽培や畜産などで自給自足している。写真●典型的な原住民の小屋。●道た。同島は16世紀前半にポルトガル人が発見したが、1545年にスペイン人・レアスが命名し、スペイン領を主張した。その後、オランダ、ドイツ、ドイツと列強のあいだで領有が争われ、1884〜85年の調停で、西部がオランダ領となり、東半部はイギリス領。東半部はドイツ領となったが、のちにはオランダ領がインドネシア領西イリアンになり、イギリス領がオース

トラリア領に、ドイツ領がオーストラリア領託管領になった。さらに東半部は1975年9月16日にイギリス連邦の自治領として独立し、パプア・ニューギニアとなった。東半部では海岸地域にココヤシ、ゴム、コーヒなどの農産物がつくられ、多くの原住民が労働者として働いている。また金、銅、フツチ、銅も小規模であるが採掘され、北部海岸のシェンドラフ半島では油田の開発が進んでいる。おもな都市はパプア・ニューギニアの首都ポート・モレスビー、コタバル。写真●スリの風景。

ニューキャッスル Newcastle イギリス、イングランド北部、ノーサンバーランド県の県都。正式名称は、ニューキャッスル・オン・タイン。人口24万。タイン川河口近くに位置し、市の起源はローマ時代にかさねる。付近のノーサンバーランド炭田を背景に、製鉄、造船、機械、化学、ガラス工業などがさかん、国内最大の石炭輸出港となっている。

ニューキャッスル Newcastle オーストラリア南東部、ニューサウスウェールズ州東部にある港湾都市。人口34万3000。シドニーの北東120キロ、ハンター川の河口に位置する。1915年以後、石炭資源を利用した工業化が進み、鉄鋼、機械、織物、化学など諸工業が発達しており、石炭、羊毛、鉄鋼などを輸出する。

ニクス Nyx ギリシア神話に登場する(夜)の女神。ヘシオドスによれば、カオスの娘で、兄弟であるエリス(喧嘩)との子ヘメラ(昼)をはじめ多くの子供をもうけた。オルフェウス歌では、万物の創造者ファネスの娘で、その力を継承し、テウラノスのほか、クロノスやゼウスの治世、世界形成について断言を考えたという。畏怖すべき女神とされるが、その崇拜や神話はごく少ない。

ニクテウス Nykteus ギリシア神話に登場する人物。リュコスとともにヒュリエウスとニフスのクロニアとの息子で、2人はデーバイの幼い王ライオスの摂政となった。娘アンティオペがゼウスの子をおももり、シシュオ

ン王エボペウスのもとに逃れると、リュコスに2人を罰するよう命じ、彼は自殺した。一説ではクトニオスの子。

ニュークリティシズム new criticism (英) 1930～50年代にアメリカ合衆国を中心におこなわれた文学批評方法。新批評という。30年代初頭、デネシー州ナッシュビルを本拠としており、41年、ランサムが評論集『ニュークリティシズム』を出したとき、現代アメリカ文学評論の主流の位置を確立した。この批評原理は、従来の印象批評や歴史批評に對し、作品を独立した価値体系とみなして、その言語、内部構造を客観的に分析しようとする。つまり、創作の動機や背景などよりも、作品の意味、韻律、心象、隠喩、象徴などを重視し、そのうえで作品の内容と形式の融合状態を解明する方法である。代表的批評家としては、ランサム、テート、ウォレン・C.ブルックスなどがあげられる。ブルックス、ウォレン共著の『詩の理解』(38)、『小説の理解』(43)は有名。

ニューコメン Thomas Newcomen 1663～1729 イギリスの技術者。セパリの開発した蒸気機関に改良を加え、高圧の蒸気を使わず、大気圧だけで作動する蒸気機関を発明した。この機関は1725年ごろからワットの蒸気機関が普及するまで、約50年間一般に使用された。

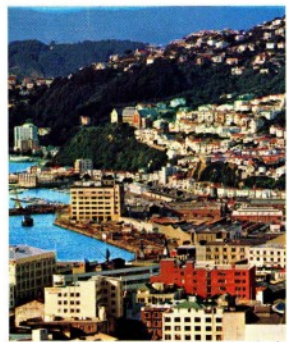
ニューサウスウェールズ New South Wales オーストラリア南東部の州。北はクイーンズランド、南はビクトリア、西はサウス・オーストラリアの各州に接し、東

は太平洋に面する。面積約80万1400平方キロ。人口447万4800。州都シドニー。1770年にイギリス人の探検家クックが発見し、1788～1840年には本国の流刑地であった。西部の乾燥平野ではコム干栽培と大規模な牧羊がおこなわれ、北東部では亜熱帯作物が栽培されている。また石炭、銅、鉛などの鉱床もある。

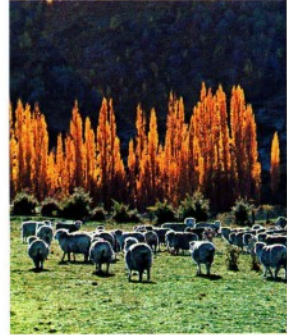
ニューシネマ new cinema (英) 1950年代末期からおこったイギリス、アメリカ合衆国における一連の劇映画の映画をさす。ヌーベルバーグの影響から、まずイギリスでリチャードソンが『怒りをこめて振返れ』(59)を製作、世界的な反響を呼び、その後あいつづいて傑作がつけられた。合衆国ではコーシャリズム批評からオフ・ハリウッドの新人が積極的に活動し、反体制派の人気を集めたが、現在ハリウッドのまきかえしがめざましい。

ニュージャージー New Jersey アメリカ合衆国東部沿岸にある州。面積1万9482平方キロ。人口716万8200(1970)。州都トレントン。南部は海岸平野、北部は丘陵地帯で、海岸に入江が多い。16世紀初期にオランダ人が入植したが、1664年にイギリスに占領され、1787年に合衆国3番目の州となった。北東部はニューヨークの大都市をひかえ、化学、自動車、機械など諸工業が発達している。おもな都市はニューアーク、パターソンなど。

ニュージャズ new jazz (英) 1950年代末期からあらわれた、革新的なジャズの総称。従来のコンセプション



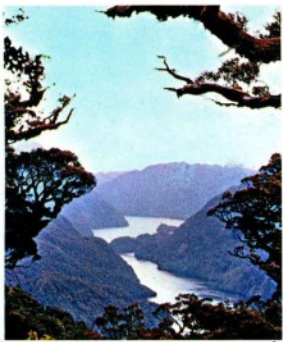
1



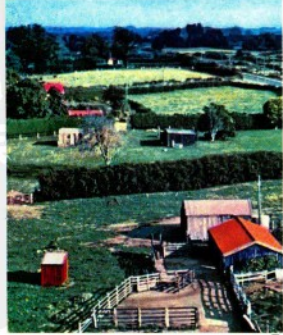
2



3



4



5

ニューギニア New Guinea 太平洋南部にある立憲君主国で、イギリス連邦内の1国。面積26万8676平方キロ。人口304万2800(1974)。公用語英語。通貨ドル(=100セント)。首都ウェリントン(写真●)。北島、南島、スチューアット島、チャム島およびその属島からなる。ほかに、クック諸島、ケルマデック諸島、トク・トゥ諸島、ニューギニア島を領有下に置く。北島は北へ向かってゆるく傾斜する高原からなり、火山地帯がひろく分布して関ヶ原が多い(写真●)。エグモント火山、●ゲウトフ

ル・サウンドの風景)。南島は西海岸にそってサザン・アルプス山脈が走り、標高3764メートルの最高峰クック山をはじめ、3000メートル級の高峰がちなり、タスマンがはく多くの氷河が存在する。同島は、17世紀にオランダの航海者アベル・タスマンが発見し、故郷のビーフンにちなんで、ノバビーフンと命名した。その後、1769～70年にクックが南島を探検してニューギニアと命名し、以来、イギリスの植民地となったが、植民の進展とともに原住民のマオリ族とのあいだに紛争がもち

あがり、2回にわたるマオリ戦争の結果、1907年、イギリス連邦の自治国となった。農畜業がさかん、牧羊に適した広大な地域をもち(写真●)。牧場、●牧場のヒツジ、食肉、乳製品などを輸出して、同国の主要な収入源となっている。また、石炭、金、石油などの地下資源と林業資源を背景として、製油、製紙、パルプ、繊維、食品加工などの工業もさかんでいる。おもな都市は、北島のオークランド、ウェリントン、南島のクライストチャーチ、ダニーデン。

にとられず、モード手法、無調の処理、8ビートの導入などあらゆる方法を採りて大なる影響を与えた。ヨーロッパ、アメリカなどに代表される。

ニュージョージアとう ― 島 **New Georgia I.** イギリス領のツロモセン諸島に属する島。人口18000。面積5200平方キロ。同諸島中のツロモセン島から南西約250キロに位置し、いくつかの火山の島からなる島群の主島である。世界最大といわれる断崖がある。住民はメラネシア系で、1893年からイギリス領。熱帯雨林におおわれ、主要生産品はココア。第2次世界大戦では連合軍と日本軍の戦地帯のひとつとなった。

ニューギランド → **【写真項目】** 前ページ

ニューギランドアルプス **New Zealand Alps** ニューギランドの北東から南西に走る奇岩山脈。北端は東岸に寄り、南端では西岸にある。山頂はサザンアルプスと呼ばれ、3764メートルの最高峰クック山をはじめ、3000メートル級の峰がところどころあり、中央部にはアール・ワグが流れる。道路が横断している。主要民族はサザン・アルプスのみならず場合がある。

ニュースレター ― 映画 報道を目的として、ニュースの撮影、編集により定期的に上映される映画。1909年、フランスのパラによってはじめてつくられ、ついで12年、アメリカ合衆国のパーストによる、**キンタナ・シ・**

ル・ニース・リール が定期的ニュース映画としてはじまり、このうち急速に普及した。とくに宣伝用としておおいに活用され、スポーツ専門のものやホルター・ジョーなど範圍もひろがった。しかし今日では、ラジオ、テレビの発達によって意義が薄れ、合衆国では製作が中止されるなど衰退がいちしうしい。

ニヤソス Nysos エリシア神話に登場する酒神ディオニソスの妻。2世紀のヒュイスマスによれば、酒神のインド遠征のさい、テーバイの統治を司されたが、酒神は暴力に訴えることをせず、3年後にその祭礼で侍女ハッガイに愛された民を市に送り、テーバイをとりもとした。

ニューディール New Deal 1929年にはじまった大恐慌に対して、アメリカ合衆国で33―39年にわたってとられた大統領D. D. ローズベルトの社会経済政策の総称。前大統領フーバーの努力もたしく、物価暴落、倒産、失業続出の波は世界各國にももたらした。この大不況と社会不安のなかで政権をになったローズベルトは「救われた人々のためのニュー・ディール」を徹するしかかかって、諸政策をうり出した。とりわけ政府の機能に大統領の権限を拡大し、社会構造の改革をおこなった。積極的に政策を展開して、多くの成果をあげたばかりが、労働組合の発達に新しい刺激を与えた。この政策は、国内市場の再開と政府の経済関与の拡大を通じて、やがての緊要へのいともなづけることになった。

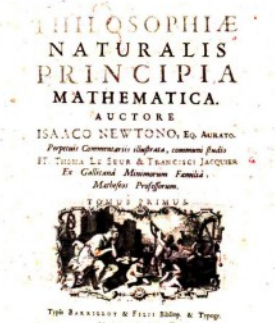
ニューデリー

1800(1971) 同国北部、ガンジス川の支流ジャムナ川西岸に位置する。1920―31年にイギリス領の新都として建設された都市で、独立後も政治、外交の中心地として発展した。整然とした道路網と緑地帯をもち、行政、司法機関、大統領官邸をはじめ、外国大使館、国際会議場、ホテルなどが集中しており、現在では国際的な政治外交都市になっている。いっぽう、郊外では紡績、皮革、ゴム、食品などの工業がおこなっている。また市内には、13―19世紀のイスラム建築や道路がある。

ニュートリノ neutrino (英) 素粒子の一種。中性微子ということもある。電氣的に中性、スピン量子数1/2、静止質量がほとんどゼロに近い。原子核の崩壊における、エネルギーとスピンの保存則を維持するための理論で、1927年にパウリがその存在を予測し、34年にフェルミによって崩壊の理論化がなされた。その存在は、50年代になってはじめて、実験的に裏付けられた。その後、ニュートリノは、崩壊だけでなく、中間子や中間子と中間子の崩壊でも発生することが知られ、62年に、崩壊で発生するニュートリノと中間子の崩壊で発生するニュートリノは、まったく別種類のものであることが確かめられた。

ニュートロン → **【物理項目】**

ニュートン → **【写真項目】**



ニュートン Isaac Newton 1643―1727 イギリスの数学者、物理学者、天文学者。万有引力の概念を考えた。物体の運動法則を正統化した。リンカーンシャーのウールソープに生まれたが、父は歳以前に死んでおり、母もすぐに再婚したため、祖父の世で過ごし成長した。機械仕掛などでの遊びが、ある少年時代であったといわれるが、物体の運動や力についての初步的な経験が、のちの学問上の基礎となった。叔父のすすめでケンブリッジ大学に入学し、1665年に卒業。青年時代には母



への愛着が強く、叔父を殺したという虚構にとらわれたことがあるといわれるが、卒業後、バースト内戦を避けて母の農場で数年間をともに暮らした。母と叔父に暮らしたこの数年が科学史上まれにみる創造的な時期となり、万有引力、光と色の分析、微積分法などの基礎についての思考がまとめられた。とくに万有引力の発見は、天体の運動と地上の物体の運動とは別の法則によって支配されるという以前に考えられていた誤説を完全にくづがえし、地上の物体の運動に適用されるのと同じ

数学の処理で、天体の運動法則を導きだせるという画期的なものであった。ニュートンはこれらの研究の数々を史上最高の科学書といわれる「プリンキピア(自然哲学の数学的原理)」(写真①)によって1687年に刊行した。後生は自然哲学者、ロイヤル・ソサエティ会長などの名譽職を歴任、科学の名士のうちに歸したにも見せられた。写真②は、ニュートンの肖像。③は、大学時代に用いた実験器具であるが、彼の天才は実験より、数学的思考方法による自然法則の体系化に発揮された。

ニュートンのほうそく —— 法則 イギリスの科学者ニュートンが、主著「プリンキピア」のなかでまとめた物体の3つの運動則。第一法則は「慣性の法則」とも呼ばれ、物体に外力が働かなければ、そのまゝの状態を維持するというもの。第二法則は、物体に外力が働くとき生じる加速度は、外力の大きさに正比例し、質量に反比例するというもの。第三法則は「作用と反作用の法則」ともい。物体間に力が働く場合、物体Aが物体BにFなる力をおよぼせば、物体Bから物体Aに大きさが相等しく方向が反対の力 $-F$ がかかるというものである。

ニューハンプシャー New Hampshire アメリカ合衆国北東部にある州。面積2万4097平方キロ。人口73万7700(1970)。州都コンコード。ニューファンドランド地方の山岳と丘陵地帯にある州で、平野は南東部のメリマック川河谷にありにすぎない。1622年からJ.メーソンが開発にあつた地で、1788年に合衆国9番目の州になった。水力資源が豊かで、織物、皮革、電気、電子、造船、印刷などの工業が発達している。おもな都市は、コンコード、マンチエスター、ポートマス。

ニューヒューマニズム new humanism (英) 第1次世界大戦後のアメリカ合衆国でおこった社会的風潮と批評運動。新人文主義ともいう。ハーバード大学を中心とするI.ハビット、P.E.モアなどの批評家が、ルソーの自然主義とロマン主義を排して、理性、良心、道徳、創造

力を重んじ、生活の規律と欲望の抑制により古典的ヒューマニズムの精神と伝統に帰るべきことを説いた。エマソンの精神主義の影響が認められるが、文芸批評に倫理的伝統主義をもちこむことにより、批評の保守化を強める結果となった。T.S.エリオットの批評的母体となる。

ニューファンドランド Newfoundland カナダ東部にある州。面積40万2393平方キロ。人口151万7000(1970)。州都セント・ジョンズ。同名島とラブラドルからなる。1497年にJ.カボットが同名島を発見し、以後、ヨーロッパ各国から移民が続き、1713年にイギリスの植民地となったが、1949年にカナダの1州となった。漁業、水産業がさかんであるほか、島ではパルプ、製紙工業がおこなわれ、ラブラドルでは鉱業もおこなわれている。島のコーナー・ブルックは新聞紙製造工場で知られ、コンセプション湾のベル島は鉄鉱石で知られる。

ニューファンドランドシロ —— 種 イヌの1品種。イギリス原産で、植民者がニューファンドランドへ渡つたとき、いっしょにつれてきて活躍したことからの名がある。体高70センチ内外、体重60キロ内外の大型犬で、頭が大きく、頑丈な体を持ち、耐久力強い。防水性のある黒い毛でおおわれ、泳ぎがきわめてうまいので、水難事故のときの救出作業に活躍する。

ニューブランズウィック New Brunswick カナダ南東部にある州。面積7万2471平方キロ。人口163万4557(19

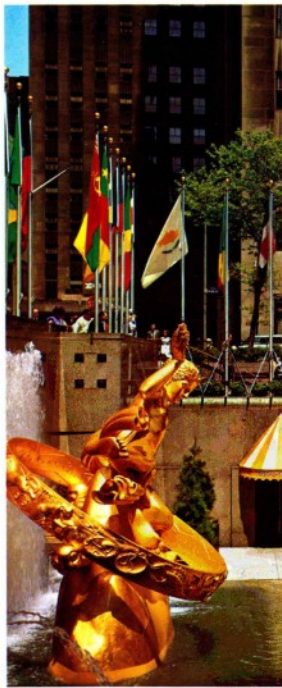
71)。州都フレデリクトン。東でセント・ローレンス湾、南でフアンディ湾にのぞむ。フランス領。イギリス領を経て、1884年にカナダの1州となった。酪農、林業、漁業のほかは食品、繊維、造船などの工業がある。おもな都市はフレデリクトン、セント・ジョン、モントクトン。

ニューブリテンとう —— 島 New Britain Is. 太平洋西南部、ニューギニア島の東方のヒスマラ諸島の主島。面積3万8000平方キロ。人口8万3400(1970)。東北から西南西に二日月形をなす島で、北部には活火山が多い。1700年にW.ダンピールが発見し、1884年にドイツ領、1922年にオーストラリア委任統治領となり、75年、パプア・ニューギニア領となった。ココヤシ、カカオ、コーヒー、ゴム、タバコなどを栽培する。中心都市はラバウル。

ニューヘブリディーズしとう —— 諸島 New Hebrides Is. 太平洋西南部、オーストラリアの東に点在する島群。総面積1万4800平方キロ。人口8万6000(1971)。エスピリトゥ・サント島、エファティ島、アンプリム島など、大小80におよぶ火山性の島とサンゴ島からなる。1606年にホルトガル人のケイロシが同諸島最大のエスピリトゥ・サント島を発見し、18世紀末にはフランスの探検がつづいた。1870年までイギリスが所有権を独占していたが、その後、フランスが進入し、1906年にイギリス、フランスの共同統治領となった。原住民はメラネシア系で、ココヤシ、カカオ、ワナなどを栽培する。



1



2



3

ニューヨーク New York アメリカ合衆国東部、同名州南東部の都市。面積935.4平方キロ。人口779万8800(1970)。ハドソン川とイースト川の合流点にあるマンハッタン島のマンハッタン区、ハーレム区をはさんだ本土のブルックス区、スタータイン島のリッチモンド区、ロングアイランド島西部のクイーンズ区、ブルックリン区(写真)その最狭10.5区からなり、小さな島々がそれに属する。人口では合衆国最大。東京とならぶ世界有数の大都市である。1625年、オランダ人がマンハッタン島に入植

してニューアムステルダムとして建設したが、64年にイギリス艦隊がこれを占領してヨーク公(のちのジェームズ2世)にちなんで、ニューヨークと改称した。アメリカ独立革命にさいいて、ニューヨークはその中心となり、独立達成後の1785年からは年間、連合政府最初の首都となった。このころから急速な発展を示した。とくに、1825年のエリー運河の開通によって、ヨーロッパから新大陸への通商基盤としての地位と、大量の農産物と鉱産資源が集積する五大湖地方と大西洋とを結ぶ中継地

としての地位とをあわせもち、61-65年の南北戦争で北軍の武器調達に大きな役割を果たしたところから、飛躍的な発展をみせ、金融、商業の世界的中心として成長した。いっぽう、人口面でも、19世紀を通じてユダヤ人、イタリア人、中国人、アイルランド人、プエルトリコ人などの移民者の流入がきびで、南部方面から流入した黒人ともあわせ、人種のるつぼとしての合衆国を端的に示す都市となった。第2次世界大戦後は、国際社会における合衆国の地位の向上、国際連合本部の設置によって、

ニューヘヴン New Haven アメリカ合衆国東部。コネティカット州南部にある港湾都市。人口13万3500（1970）。1638年に清教徒が建設した町で、のちに貿易都市として発展した。1830年代から工業が発達し、現在、時計、火器、火薬、造船、電気機器、ゴムなどの工業が盛んである。イェール大学、ビーボード博物館などがある。

ニュエマン Henry Newman 1801-90 イギリスの神学者、牧師。オクスフォード大学卒業後、イギリス国教会の聖職者となる。はじめ広教会会の自神学思想に共感したが、大時代には広教会会のキールスの思想に接近、宗教への政治的干渉を排除しようとする高教会派の理想を志して(オックスフォード運動)を高くした。次第に「時局意識」の痛覺を痛くしてカトリシムとカトリシニスムの中間にいる国教会を説くが、しだいに古代教会の研究からアングロ・カトリシム思想を提唱、ついに1845年、カトリックに改宗した。ローマで叙用され、47年、オクスフォード会上としてギリシス正統派修道院を創設、68年には「アポロキア」を著して、詩人、哲学者としての名声も得た。新スコラ主義にみこみ、その自由主義的イデオロギスムは、キールスの疑念をけがらぬ、神聖な教皇は13世紀の権威者となった。(『新約の教』と称され、今日のキリスト教思想界に多大の影響を与えた思想家としての意義はきわめて大きい。主著「ニュエマン宗教大綱」(1930年))

ニューマン Paul Newman 1926- アメリカ合衆国

国の映画俳優。アクターズ・スタジオでカザンに学び、1954年に映画界にデビュー。56年の「傷だらけの栄光」でスターの地位を獲得した。以後、クールな個性と的確な演技で人気を高め、「熱いトタン屋根の猫」(58)、「ハスラー」(61)、「ハード」(63)、「暴力親族」(67)、「明日に向かって撃て」(69)などに主演。「ルーチェール レーチェール」(68)以後は監督にも進出。現夫人は女優ウェッドワード。

ニューメキシコ New Mexico アリカリ合衆国西部の州、面積31万5115平方キロ、人口101万6000(1970)。州都サンタフェ。ロッキー山脈南麓に位置し、南はメキシコに接す。山地が多く、大分降水帯が州西部を縦断する。16世紀末から18世紀初め、1821年以後はメキシコ領であったが、48年にアリカリ領となり、1912年に合衆国47番目の州となった。リオ・グランデ川流域の地方は灌漑による農業がおこなわれ、トマト、コムギ、トウモロコシを栽培する。銅、金、銀、石油、天然ガスなどの地下資源も豊富で、現在は電子工業がおこなっている。おもな都市はアルバカーキ、サンタフェ、ロズウェル。

ニューヨーク New York アメリカ合衆国北東部にある州。面積12万8402平方キロ。人口1819万7000(1970)。州都オルバーニ。北はカナダ、西はオタワリョウ湖とエリー湖、南部はペンシルベニア州、南東は大西洋に接し、東はグリーン山脈が州境をなしている。16世紀初頭に、オランダ人が発見し、17世紀中葉、イギリス人が移り、1789年、合衆国独立時の13州の1州となった。現在、近郊

農業が発達しており、また、紡績、製紙、機械、製鉄など種々の工業がきかんである。おもな都市はニューヨーク、ロチェスター、シラキュース、オルバーニーなど。

ニューヨーク → [写真項目](#) 前ページ

1792年にはじまるアメリカ合衆国の証券取引所。世界最大の取引所のひとつで、500をこす会員数を誇り、合衆国においては世界の景気を占ううえでつねに注目される。

ニューヨークシティバレードン ― 団 アメリカ合衆国のバレードン。1933年、バランチン、カースティンによって創設されたアメリカン・バレードンを前身とし、46年にバレードン協会に発展、48年に現在の名称となった。アメリカン・バレードン・シアターとともに、合衆国でもっとも輝かしい伝統をもち、多数の舞臺劇、振付師を生んでいる。

ニューヨークタイムズ The New York Times アメリ
カ合衆国の日刊新聞。1851年、レモンドによって創
刊され、その後、一時経営不振に陥っていたが、96年、
オックスが買収し、全面的な改革をおこなって今日の基
礎を築いた。掲載に値するすべてのニュースをモー
ト一にかけ、良心的な編集方針をたずぬいて、今日の
影響力も国際的なものとなっている。1971年、ベトナム
秘密文書に関する政府とのたたかいは新聞史上に残るも
のとして名高い。発行部数約80万(1975)。



国際政治の中心になった。市は島のそれぞれと。また本土と幾本もの鉄橋や空中通路で結ばれ、自動車道、地下鉄、高架鉄道など複雑な交通網がもたらしているほか、ケネディ、ラ・グディア、ニューアークなどの空港がある。橋のうち、世界最長のつり橋でリッチモンドとブルックリンを結ぶぶらうザ・ナローズブリッジ。マンハッタンとブルックリンを結ぶブルックリン橋(写真②)は島物としても有名である。市の中心をなすのはマンハッタン島で、テレビ塔が新設された高さ381メートルのエンパイア

デ・ステート・ビル。それより約30メートル高い世界貿易センタービル。クワース・ビルなど高層建築は5番街(写真①)を中心に林立している(写真②)。ニューヨーク株式取引所代表的な銀行、証券会社などの本社が集中するウォール街。演劇有名なブロードウェイはここにある。セントラル・パーク(写真③)、ロックefeller・センター(写真④)広場にバークメテスビル、合衆国一の美術品を集めたメトロポリタン美術館、グッゲンハイム近代美術館、ヘドントプラザネリウム。

ニューヨーク大学、フォードham大学、聖パトリック大聖堂、聖パウロ聖堂など数多の文化施設が集中している。また、西岸のハドソン川沿いには多くの埠頭が並び、イースト川沿いのもりや橋の区のものともあわせて、合衆国の輸出入の半数近くを取り扱っている(写真①)。産業は、貿易、金融、卸売、小売など商業が中心であるが、繊維産業、食品加工、印刷出版なども盛んである。なお、コニー・アイランドの海浜(写真②)は、ニューヨーク市の主要な観光地としてにぎわっている。